

授業概要

社会調査に関して、テーマの設定、仮説構成、質問項目の作成から、実際のデータ収集、データ整理、解析、報告書の作成まですべてのプロセスについて量的調査を中心とし、社会調査の一連のプロセスについて理解を深める。

構成としては、調査を実施するまで、そして実施した後のデータ処理の2段階となる。

講義が中心ではあるが、調査の一連のプロセスを理解してもらうため、データ処理に関しては実際にデータの解析を授業中に実施する。

授業計画

第1回	調査目的と調査方法（全数調査と標本調査、量的調査と質的調査）
第2回	調査方法の決め方
第3回	調査テーマの決定法（仮説構成の方法）
第4回	サンプリング（サンプリング法、標本数と誤差の問題）
第5回	調査の実施方法Ⅰ（さまざまな実施方法）
第6回	調査票の作成法Ⅰ（質問項目の作り方）
第7回	調査票の作成法Ⅱ（性格検査や態度検査を組み込む場合）
第8回	調査の実施方法Ⅱ（具体的な実施方法の手順、調査票の配布・回収）
第9回	調査データの整理（エディティング、コーディング）
第10回	データの集計とデータクリーニング（単純集計、クロス集計など）
第11回	データの分析法（相関、偏相関）
第12回	多変量解析（因子分析、重回帰分析）
第13回	調査結果の表現（グラフ表現とうその問題）
第14回	論文（報告書）の作成法
第15回	総まとめ
第16回	レポートの提出

到達目標

調査の方法論を確実に理解してもらう。心理系の専門ゼミでの調査、社会調査実習、卒論において応用が可能になる実力を身につける。

履修上の注意

積極的な意見、質問を歓迎する。ただし、私語は厳禁。

予習・復習

資料とテキストを付け合わせて確認し、復習をしてもらいたい。

評価方法

授業の参加性（80%）とレポート結果（20%）をもとに評価する。

テキスト

毎回、A4の資料2枚程度を授業テキストとして配布する。復習がしっかりできるように授業テキストは構成する。